

決算書で分かる！ 水道のお仕事

令和6年2月 作成

吉賀町 水道事業

Q. 早速だけど、決算書って何が分かるの？

- ⇒次のようなことが分かります！
- 売上や儲けはどうなっているのか？
- 儲けは何に使っているのか？
- 職員はどんな仕事をしているのか？
- どれくらい借金が残っているのか？
- 経営状況はどうなっているのか？
- 資産や借金のバランスはとれているのか？
- 現金は十分に持っているのか？

...読み解いていくと、他にも色々分かります。

Q. そもそも決算書ってなに？

1	吉賀町水道事業決算報告書	1
2	吉賀町水道事業損益計算書	3
3	吉賀町水道事業剰余金計算書	4
4	吉賀町水道事業剰余金処分計算書(案)	5
5	吉賀町水道事業貸借対照表	6
6	注記	7
7	附属書類	
(1)	吉賀町水道事業報告書	9
(2)	吉賀町水道事業キャッシュフロー計算書	21
(3)	吉賀町水道事業会計収益費用明細書	22
(4)	吉賀町水道事業会計資本的収入及び支出明細書	25
(5)	固定資産明細書	26
(6)	企業債明細書	27
(7)	吉賀町水道事業会計予算繰越計算書	28

• 決算書とは会社の「成績表」、
「診断書」のようなもの。

• なにが良くて、どこが悪いか
を数字で見ることができます。



特に見るべきポイントは枠で
囲っている3つの表。合わせて
「財務諸表」

と言います。

• 決算書を基に「水道をどう良くするか」が
大事です。

Q. 売上や儲け(利益)はどうなっているのか。

令和4年度吉賀町水道事業損益計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	98,886,360		
(2)	その他営業収益	232,315	99,118,675	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	33,245,941		
(2)	配水及び給水費	11,314,162		
(3)	総務費	23,919,218		
(4)	減価償却費	130,696,819		
(5)	資産減耗費	354,955	199,530,495	
	営業損失			△ 100,411,820
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	2,470		
(2)	他会計補助金	82,941,000		
(3)	長期前受金戻入	50,892,047		
(4)	雑収益	26,438	133,861,955	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	15,039,097		
(2)	雑支出	54,840	15,093,937	18,356,198
	経常利益			18,356,198
	当年度純利益			18,356,198
	前年度繰越利益剰余金			0
	当年度末処分利益剰余金			18,356,198

• A. 損益計算書を見ると分かります
(決算書6P)。

• どれだけの利益や損失があったか、
企業の経営成績を示す表です。

本業の状態
業務全体の状態
最終的な状態
...の3つに区分。



• 料金が適正か、無駄な出費が
ないか等も、分かります。

もっと詳しく、損益計算書

平成30年度吉賀町水道事業損益計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	102,597,761		
(2)	その他営業収益	1,900		102,599,661
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	29,415,500		
(2)	配水及び給水費	11,851,124		
(3)	総係費	25,179,927		
(4)	減価償却費	139,975,047		
(5)	資産減耗費	878,135		207,299,733
	営業損失			△104,700,072
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	894		
(2)	他会計補助金	92,632,000		
(3)	長期前受金戻入	44,732,189		137,365,083
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	22,689,729		
(2)	雑支出	1,952,021	24,641,750	112,723,333
	経常利益			3,023,261
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	3,857,738	3,857,738	3,857,738
	当年度経常利益			11,880,999
	前年度繰越利益剰余金			0
	当年度末繰分利益剰余金			11,880,999

この計算書は、ある年の吉賀町の水道事業の状況です。

簡単に分析してみましょう...

・本業は赤字です(その額1億円!)

・多額の他会計補助金のおかげで、業務全体では黒字となっています。

・最終的には1千万円の利益があり、運営上は概ね問題ない状態です。

ただ、独立採算とは言えない状態です。

Q. 解消するには？

⇒A. 収益増か費用減が必要です。

Q. 儲けは何に使っているのか？

令和4年度吉賀町水道事業剰余金計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

	資本金	剰余金						資本合計		
		資本剰余金			利益剰余金					
		国県補助金	工事負担金	寄附金	減価積立金	利益積立金	建設改良積立金		未処分利益剰余金	利益剰余金合計
前年度末残高	370,858,088					3,312,139	35,540,172	12,509,767	51,362,078	422,220,166
前年度処分額	0						12,509,767	△12,509,767	0	0
前年度繰越剰余金	0						12,509,767	△12,509,767	0	0
前年度繰越剰余金	0						12,509,767	△12,509,767	0	0
処分後残高	370,858,088					3,312,139	48,049,939	0	51,362,078	422,220,166
当年度変動額	0					0	0	18,356,198	18,356,198	18,356,198
当年度純利益	0							18,356,198	18,356,198	18,356,198
当年度末残高	370,858,088					3,312,139	48,049,939	18,356,198	69,718,276	440,576,364

(注) 1 この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものであること。

A. 将来に向けて積立をしています(決算書7P)。

・利益積立金...将来の赤字に備えた積立です。

・建設改良積立金...管路や施設の更新用の積立です。

・未処分利益剰余金...まだ、使い方の決まっていないお金です。(剰余金処分計算書で使い方の提案をし、議会で決めます)。

Q. 職員はどんな仕事をしているのか？

Table with 6 columns: No., Work Name, Work Content, Fiscal Year Cost (¥), Start Date, End Date, Remarks. It lists various maintenance and repair work for water supply facilities.

A.施設の維持や漏水対応など色々な工事の対応をしています。

・決算書には改良工事や保存工事の内容をまとめた一覧もついてます(決算書16~20P)。

・改良工事...耐震化や老朽化に対応する工事です。

・保存工事...施設やメーターの維持管理や漏水対応、など様々な工事をしています。

←図は保存工事の一例です。

Q. どれくらい借金が残っているのか？

Enterprise Debt Statement Table with columns for debtor name, date, amount, interest, and status. It provides a detailed breakdown of various loans and their terms.

・ A.企業債明細書を見ると分かります(決算書 33 P)。まずは一番下の合計行で全容を見ましょう。この表では約10億8千万円の借金が残っていることが確認できます。

- ・(各項目の説明)
・発行総額...借りたときの金額です。
・当年度償還高...その年に返済した金額です。
・償還高累計額...今までに返済した金額です。
・未償還残高...借金の残額です。

- ・借りる毎に1行づつ増えます。
・返し終わるとその行は消えます。

・大まかな金額だけ知りたいときは決算書P25「企業債の概要」でも確認できます。

もっと詳しく、貸借対照表(資産の部)

令和4年度吉賀町水道事業貸借対照表
(令和5年3月31日)

(単位:円)

		資 産 の 部	
1 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
イ 土 地		68,039,687	
ロ 建 物	124,972,256		
減価償却累計額	<u>△ 72,728,445</u>	52,243,811	
ハ 構 築 物	4,084,135,057		
減価償却累計額	<u>△ 2,348,315,617</u>	1,735,819,440	
ニ 機 械 及 び 装 置	1,405,004,480		
減価償却累計額	<u>△ 1,083,457,308</u>	321,547,172	
ホ 工 具・器 具 及 び 備 品	18,840,000		
減価償却累計額	<u>△ 4,239,000</u>	14,601,000	
ヘ 建 設 仮 勘 定		17,384,418	
有形固定資産合計		<u>2,209,635,528</u>	
固定資産合計			2,209,635,528
2 流 動 資 産			
(1)現 金 預 金			
			303,873,557
(2)未 収 金	21,971,051		
貸倒引当金	<u>△ 5,196,736</u>	16,774,315	
流動資産合計			<u>320,647,872</u>
資産合計			<u>2,530,283,400</u>

• 資産の部ではお金の使いみちが分かります。

• 固定資産を今どれだけ保有し、その価値がどれだけあるかが分かります。

• 現金預金がどれだけあるかも分かります。

※貸倒引当金は未収金の内、回収できない見込金額です。

もっと詳しく、貸借対照表(負債の部)

負 債 の 部

3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		963,923,164	
固定負債合計			963,923,164
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		120,380,759	
(2) 未 払 金		11,015,611	
(3) 引 当 金			
イ 賞 与 等 引 当 金		1,282,000	
(4) 預 り 金		904,669	
流動負債合計			133,583,039
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
		2,274,834,754	
(2) 収 益 化 累 計 額	<u>△ 1,288,379,188</u>		
(3) 建設仮勘定長期前受金		5,745,267	
繰延収益合計		<u>992,200,833</u>	
負債合計			<u>2,089,707,036</u>

• 負債の部ではお金の出所の内、借金がどれだけあるかが分かります。

• いくら借金があるか、返済が必要な金額が分かります。

• 1年以上後にいずれ支払う「固定負債」と、この1年以内に支払う「流動負債」で分けています。

もっと詳しく、貸借対照表(資本の部)

資 本 の 部	
6 資 本 金	
(1) 資 本 金	370,858,088
資 本 金 合 計	370,858,088
7 剰 余 金	
(1) 利 益 剰 余 金	
イ 利 益 積 立 金	3,312,139
ロ 建 設 改 良 積 立 金	48,049,939
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	18,356,188
利 益 剰 余 金 合 計	69,718,276
剰 余 金 合 計	69,718,276
資 本 合 計	440,576,364
負 債 資 本 合 計	2,530,283,400

• 資本の部ではお金の出所の内、借金以外のものがどれだけあるかが分かります。

• 資本金は事業設立時の元手になったお金です。

• 現状は赤字が発生していないため、問題のない財産状態です。

並べて見よう！ 損益計算書と貸借対照表

【損益計算書】	
一般費用 750	料 金 収 入 300 一 般 会 計 繰 入 金 等 600
利息 110	損 益 Δ 160
減価償却費 引当金繰入額等 200	

【貸借対照表】	
(資産の部)	(負債の部)
有形固定資産 40,000	企業債 10,000
減価償却累計額 Δ 19,000	引当金 100
	未払金 50
	繰延収益 10,000
現金預金 10	(資本の部)
未収入金 50	資本金 800
	資本剰余金 50
	利益剰余金 60

○これまでは把握できなかった公営企業の経営成績をひと目で把握することが可能となり、事業が効率的に行われているかを評価することができる。

○固定資産の規模や老朽化度、債権等の金額を、一覧性をもって把握可能となり、公営企業の事業規模を把握することができる。

○企業債、繰延収益等の金額が把握可能となり、資産をどのような財源で賄っているか、また将来世代への負担額を把握することができる。

• 損益計算書は、1年間の経営状況を示します。

• 貸借対照表は、年度末の財産状況を示します。



2つを組み合わせると、一目でその企業の状況の把握ができます！

Q. 現金は十分に持っているのか？

令和4年度吉賀町水道事業キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	18,356,198
減価償却費	130,696,819
資産減耗費	354,955
賞与等引当金の増減額(△は減少)	32,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	294,862
長期前受金戻入額	△ 50,892,047
受取利息及び受取配当金	△ 2,470
支払利息	15,039,097
未収金の増減額(△は増加)	2,654,097
未払金の増減額(△は減少)	2,572,212
預り金の増減額(△は減少)	3,506
小計	119,109,229
利息及び配当金の受取額	2,470
利息の支払額	△ 15,039,097
業務活動によるキャッシュ・フロー	104,072,602
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 50,269,537
国庫補助金による収入	15,665,456
一般会計からの繰入金による収入	61,502,800
工事費負担金による収入	754,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,652,719
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	36,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 130,377,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 93,977,276
資金増加額	37,748,045
資金期首残高	266,125,512
資金期末残高	303,873,557

A. キャッシュ・フロー計算書を見
てみましょう(決算書 27P)。

・ 現金の動きを示す表で、
「家計簿」
のようなものです。

・ 大きく分けて次の3つに区分さ
れます。

- 業務活動...本業の状況
- ← 投資活動...投資の状況
- 財務活動...借金の状況



資金繰りの状況も分かります。

もっと詳しく、キャッシュ・フロー計算書

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	11,880,999
減価償却費	139,975,047
資産減耗費	878,135
賞与等引当金の増減額(△は減少)	△ 46,563
貸倒引当金の増減額(△は減少)	485,243
長期前受金戻入額	△ 44,732,189
受取利息及び受取配当金	△ 894
支払利息	22,689,729
未収金の増減額(△は増加)	△ 3,674,081
未払金の増減額(△は減少)	△ 4,988,210
預り金の増減額(△は減少)	1,190
小計	122,464,406
利息及び配当金の受取額	894
利息の支払額	△ 22,689,729
業務活動によるキャッシュ・フロー	99,775,571
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 48,519,013
国庫補助金による収入	12,926,851
一般会計からの繰入金による収入	52,368,000
工事費負担金による収入	9,309,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,065,651
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	27,900,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 104,714,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76,814,102
資金増加額	49,017,120
資金期首残高	94,052,158
資金期末残高	143,069,278

←の計算書は、ある年の吉賀町の水道事業の状況です。
簡単に分析してみましょう...

・ 業務活動...プラス
(本業の現金の動きは安定。
ただし、利益の大半は繰入金によるもの)

・ 投資活動...プラス
(投資はしている。一般会計からの補てんが多い)

・ 財務活動...マイナス
(借りた借金く返した借金となっている。健全)



・ 全体では資金増となっており、堅調な状態。
・ ただし、一般会計からの補てんに依存している。
...ということが分かります。